

国立病院機構 福山医療センター レジメン登録・管理表

レジメン名称	乳癌 3週毎 TRA + nab-PTX療法		臨床区分 <input checked="" type="checkbox"/> 日常診療 <input type="checkbox"/> 単施設自主研究 <input type="checkbox"/> 他施設自主研究 <input type="checkbox"/> 市販後臨床研究 <input type="checkbox"/> 治験	抗癌剤適応分類 <input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発化学療法 <input type="checkbox"/> 術後化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法 <input type="checkbox"/> 局所療法 <input type="checkbox"/> その他	登録日	2016年11月9日	
疾患名	乳癌				1クール期間	21日	
診療科名	乳腺・内分泌外科					実施回数	/回
登録医師名	高橋 寛敏						

Rp	薬品名称	標準投与量	単位	投与方法	ルート	投与時間	投与日										注意コメント
							day1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
1	生理食塩液	250	mL	点滴静注	メイン		●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	血管確保用 ※開始から終了までECGモニターを装着すること
2	生理食塩液 トラスツスマブBS点滴静注用	250 8	mL mg/kg	点滴静注	側管	90min	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1) 初回投与時のみ8mg/kg (2回目以降6mg/kg) ※初回投与の忍容性が良好であれば、投与時間30minまで短縮可能
3	グラニセトロン点滴静注液3mgバック デキザニド注射液 6.6mg	1 1	袋 瓶	点滴静注	側管	15min	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	投与終了後、生理食塩液でフラッシュすること。
4	生理食塩液 アブラキサン点滴静注用	100 260	mL mg/m2	点滴静注	メイン	30min	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	各バイアル生食20mLで溶解し、使用量のみ空容器に注入 ※メインルート使用（生食のみ配合可能） ※インラインフィルターを使用しないこと。 ※特定生物由来製品であるため、ロット番号入力を忘れないこと。 ※特定生物由来製品であるため、同意書が必要
5																	

備考欄
※JBCRG M05（PRECIOUS）試験を行う場合
★ハーセプチン：何らかの理由により、予定された投与が遅れた場合、前回投与日から6週間未満のときには、維持投与量 6 mg/kg を投与する。前回投与日から6週間以上のときには、初回投与量の 8 mg/kg で投与を行い、以降は維持投与量 6 mg/kg を3週間隔で投与する。（添付文書と異なる。）

減量・中止基準
※JBCRG M05（PRECIOUS）試験を行う場合は、臨床研究実施計画書に沿って減量・中止を行うこと。

文献